

地域戦略3

戦略名：元気はとちぎの“安足”から にぎわう農村づくり

(1) 対応方向

安足地域は、美しく安らぎを与える農村景観や豊かな自然環境などの多様な地域資源に富み、これに誘われ多くの人々が訪れ、地域住民との交流も盛んに行われていますが、その一方で、中山間地域を中心に高齢化や人口減少等が進んでおり、農業生産や農地等の保全活動、伝統行事の継承への影響が懸念されています。

このため、地域活動の核となる人材・組織の育成とともに、観光・商業施設等とも連携した新たな都市農村交流活動の展開や農村の魅力発信強化による関係人口の拡大を図ります。また、集落営農組織の体質強化や農村環境の保全活動、鳥獣被害対策への支援とともに、ため池や排水機場の計画的な保全整備により農村地域の防災力向上を図り、安心して営農を続けられる元気でにぎわう農村づくりを進めます。

(2) 主な指標

指標項目	現状(2019)		目標(2025)
農産物直売所や農村レストラン等*の利用者数	173 万人	➡	180 万人
農産物直売所の販売金額	15.0 億円		16.0 億円
鳥獣による農作物の被害額	7,047 千円		4,900 千円
多様な人材が参画する集落営農組織数	0 組織		2 組織

*農産物直売所・農村レストラン・観光農園・農業体験施設



農業体験でにぎわう農村



都市住民との交流により継承される祭り



協働活動による侵入防止柵設置



管理の行き届いた管内のため池

(3) 取組方策

【農村地域を支える人材・組織の育成】

- ① 地域活動の核となる人材の掘り起こしや組織の育成を図り、地域全体で農村ファン（関係人口）を受け入れる体制づくりを支援します。
- ② 中学生を対象とした出前講座や農作業体験機会の創出により、農業・農村への興味・関心を醸成し、将来の農村地域を支える人材の裾野拡大につなげます。

【交流人口・関係人口の拡大等による地域の活性化】

- ① 郷土食や農業体験、美しい景観等、地域の魅力をSNS等を通じて発信し、交流人口や関係人口の拡大に取り組むとともに、地元グリーンツーリズム協議会のほか、観光・商業施設や近隣市町とも連携して都市農村交流活動の積極的な展開を図ります。
- ② 新しい生活様式（with・post コロナ）も踏まえ、農産物直売所など交流施設におけるキャッシュレスサービスの導入や品揃えの確保など顧客サービスの向上に向けた取組を推進するほか、市等と連携し、都市住民の農への関心を高め、テレワークなど新しい働き方を希望する移住者等の受入れを推進します。

【集落営農組織の体質強化、農村環境の保全、鳥獣害対策】

- ① 地域内外の多様な人材の参画等により、地域農業を支える集落営農組織の体質強化を支援します。
- ② 農業・農村の多面的機能発揮や営農の継続に向けて、地域づくり団体や地域内外の企業・福祉施設などとの連携による農村環境の保全活動を支援します。
- ③ 鳥獣被害の防止に向けて、青パイアやユウカリといった被害にあいにくい作物の安定生産と拡大を図るとともに、ICT箱罾などの先進技術の活用や捕獲技術の継承、鳥獣被害対策実施隊など地域住民協働の取組を支援します。

【農村地域の防災力向上】

- ① 農村地域の防災力向上に向け、現地研修会の開催等により、ため池や排水機場等の管理者への適切な維持管理方法や緊急時における対応方法の指導を行います。
- ② 防災重点農業用ため池の豪雨対策調査や耐震対策調査等を進め、調査結果に基づく必要な補強対策を支援します。

(4) 推進体制と役割分担

